

家棟川ビオトープ 魚の観察会を 開催しました～(^・^)♪

平成28年8月11日(木・祝)9時から、野洲市野田地先の家棟川ビオトープで魚の観察会を開催しました。

今年1回目の観察会で、晴天に恵まれ、けが人もなく無事観察会を終えることができました。観察会に参加いただいた家族連れや個人の方々38名とスタッフ18名の計56名で、船に乗って家棟川で魚を捕まえたい、ビオトープの池に入って魚や昆虫などを捕まえて観察したり、魚と野草の天ぷらの試食を行いました。



船に乗って家棟川へ



投網で魚の捕獲に挑戦



ビオトープの池で魚捕り

家棟川では、投網とさし網で魚の捕獲を行いました。千リメンカワニナやヒメタニシなどが捕獲できたのをはじめ、外来種であるブラックバスも捕れました(〇)

ビオトープの池では、キンフナやヨシノボリ、カネヒラ、メダカなど多くの魚が捕れました。また、スジエビやヌマエビなどの甲殻類も捕れました(〇)/

講師の先生による、魚の特徴や見分け方などの説明を、みんな真剣に耳を傾けていました。その後、子どもたちは、実際に捕ってきた魚などを手に取り、触って観察しました。



捕獲した生き物を観察



野草と魚の天ぷらを試食

参加してくれた子どもたちから、また参加したいという声もいただきました。

次は、11月5日(土)に秋の自然観察会を開催予定ですので、多数のご参加をお待ちしております！！

最後に全員そろっての記念撮影をした後、ビオトープ内で採れた野草と漁師さんに提供いただいた魚(コアユ)の天ぷらをみんなで試食しました。

クスの芽やアカツメクサ、セイタカアワダチソウ、スイバなどの野草の天ぷらを食べると、「アカツメクサはほのかに甘い。セイタカアワダチソウは少し苦い。やっぱり魚が一番おいしい。」など、いろんな感想が子どもたちから聞こえてきました。

おにぎりを持参している参加者もおられ、楽しい時間を過ごしていただきました。



参加者全員で記念撮影

家棟川ビオトープ自然観察会

主催：滋賀自然環境研究会、NPO法人家棟川流域観光船、国土交通省琵琶湖河川事務所、野洲市、滋賀県土木交通部流域政策局河川・港湾室、南部土木事務所

協力：独立行政法人水資源機構琵琶湖開発総合管理所

事務局：滋賀県土木交通部流域政策局河川・港湾室